

大会名 Competition	第24回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-114	Year Month Day Time 2011 年 5 月 5 日 13 : 30
場 所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
延岡学園	(33 1st 16 15 2nd 18 23 3rd 8 24 4th 10 OT)	新潟商業
95 ○		52 ●

主審:Referee
高橋 伸次 (群馬県)
副審:Umpire
谷地 温 (秋田県)
副審:Umpire
加川 真 (宮城県)

テーブル・オフィシャルズ:Table officials
能代高校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	×	岩田 大輝	cap	4	0	2	0	2	4	×	黒崎 海斗	CAP	2	0	1	0	3
5	×	ジョフ バンバ		35	0	15	5	0	5	/	笹川 錬也		0	0	0	0	0
6	×	寺原 拓史		4	0	1	2	1	6	×	小川 健太		2	0	1	0	2
7	×	黒木 亮		8	0	4	0	1	7	×	江部 大樹		3	1	0	0	2
8	/	田中 駿也		4	0	2	0	2	8	/	神田 佑成		2	0	0	2	0
9	/	善家 耕太郎		0	0	0	0	2	9	×	近藤 孝仁		4	0	2	0	4
10		岡本 飛竜		-	-	-	-	0	10	/	小柳 多功		10	0	5	0	0
11	/	中島 蒼		0	0	0	0	0	11	×	笹原 一生		11	3	1	0	4
12	/	佐藤 友弘		0	0	0	0	0	12	/	伊藤 賢人		6	0	3	0	1
13	/	寺園 脩斗		2	0	0	2	1	13	/	大矢 孝太郎		12	0	4	4	3
14	×	ベンドラメ 礼生		33	7	5	2	0	14	/	今井 惇司		0	0	0	0	0
15	/	山田 将吾		2	0	1	0	2	15	/	藤井 智己		0	0	0	0	0
16	/	平田 貴大		2	0	1	0	0	16	/	新沢 亮太		0	0	0	0	0
17	/	野中 亮吾		0	0	0	0	0	17	/	加藤 豪		0	0	0	0	1
18	/	夏井 隆光		1	0	0	1	0	18	/	渡辺 樹大		0	0	0	0	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		中屋 廣昭						
Aコーチ		丸岡 英文							Aコーチ		丹波 浩之						
合計				95	7	31	12	11	合計				52	4	17	6	20

※×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

1Q、共にマンツーマンディフェンスでスタート。立ち上がり延岡は#5ジョフのゴール下や#4岩田のドライブなどで得点するが、新潟商も#11小笠原の3Pや#9近藤のミドルなどで得点し、シーソーゲームの展開が続く。残り時間5分から延岡は#7黒木のゴール下のシュートを皮切りに6連続ゴールを決め、27-12とリードする。新潟商はたまたずタイムアウトを取るが、その後も延岡の勢いは止まらず、33-16と延岡のリードで1Qを終了する。

2Q、開始早々から延岡は#5ジョフのダンクシュートが炸裂する。対する新潟商も#13大矢のゴール下や#11小笠原の3Pで追いつくが延岡も#14ベンドラメの3Pや#4岩田のミドルなどで譲らない。終了間際、新潟商は#7江部がブザービーターを決めるも48-34の延岡リードで前半を折り返す。

3Q、延岡がディフェンスを2-3ゾーンに変えると新潟商は攻めあぐね得点が止まる。延岡は#14ベンドラメの3Pと#5ジョフのインサイドでのプレーで着実に得点を重ねゲームを支配する。その後も新潟商はゾーンディフェンスを攻略できず、71-42の延岡リードで最終Qをむかえる。

4Q、ディフェンスをマンツーマンに戻した延岡に対して巻き返しを図りたい新潟商だが、延岡のスピードと高さの前になかなかシュートが決まらない。一方、延岡は#5ジョフと#14ベンドラメが内外で攻め続け、主導権を渡さない。残り時間4分には延岡はメンバーを全員交代する。新潟商は#13大矢のリバウンドからのシュートや#12伊藤のミドルが単発で決まるものの、終始延岡のペースで試合は進み、95-51の延岡の完勝に終わった。